

都市再生整備計画 事後評価シート  
姫路駅周辺地区(第2期)

令和2年3月

兵庫県姫路市

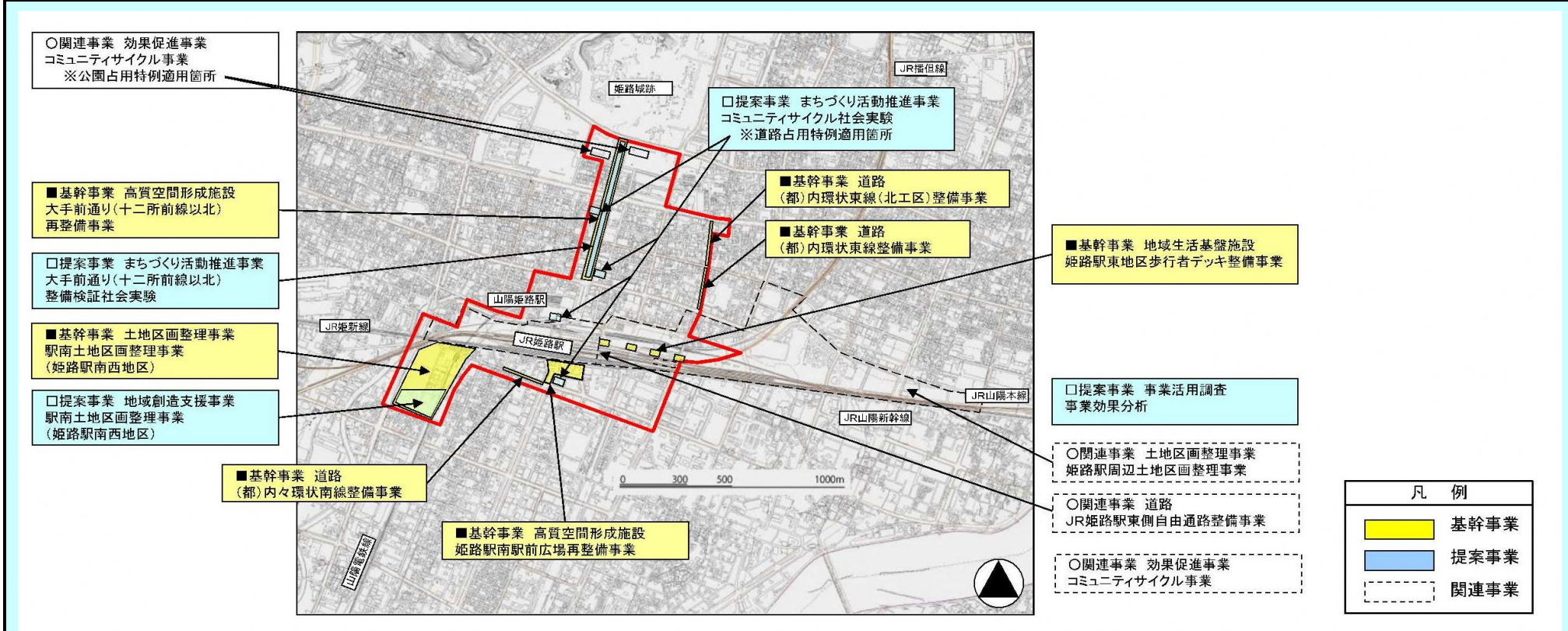
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市	地区名	姫路駅周辺地区(第2期)			面積	96.8 ha							
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	平成31年度	交付対象事業費	4,502	国費率	0.45									
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(姫路駅東地区歩行者デッキ整備事業)、高質空間形成施設(姫路駅南駅前広場再整備事業、姫路駅南駅前広場周辺まちなみ整備事業)、高次都市施設(イベントゾーン整備事業)、土地区画整理事業(駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区))													
		提案事業	土地区画整理事業(姫路駅南西地区)、駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区)、姫路駅南駅前広場整備検証社会実験、大手前通り(十二所前線以北)再整備事業コミュニティサイクル社会実験、事業効果分析													
	当初計画から削除した事業	基幹事業	姫路駅南駅前広場周辺まちなみ整備事業、イベントゾーン整備事業	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
		提案事業	姫路駅南駅前広場整備検証社会実験	公安委員会と協議を重ねたが、市民生活への影響が大きいという理由で許可を得られなかったため事業を削除する。			影響なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	(都)内々環状南線整備事業、(都)内環状東線整備事業、(都)内環状東線(北工区)整備事業	姫路駅を中心とした都市部の回遊性を向上させ、中心市街地の活性化、都市交通の円滑化やコンパクトシティの形成等を推進するため事業を追加する。			影響なし									
		提案事業	大手前通り(十二所線以北)整備検証社会実験	整備による周辺への影響の緩和と整備効果を検証するため、仮整備による社会実験を実施するため追加する。			影響なし									
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響													
変更	なし															
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度									
	指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	63,639	H26	83,700	H31		70,434	△	ありなし	●	来訪者の利便性が増し指標改善に効果があったが、目標には届かず今後大幅な増加は見込めない。	令和2年6月		
	指標2	鉄道乗降客数の増加	人/日	63,236	H25	66,786	H31		67,805	○	ありなし		●	基盤整備がなされて駅周辺の居住者が増加し鉄道乗降客も増えたと思われる。	令和2年6月	
	指標3	交通混雑の解消	台/ピーク	222	H24	155	H31		66	○	ありなし			●	周辺道路の及び姫路駅南駅前広場の整備によって車両が駅前に集中しなくなったと思われる。	
	指標4	イベント数の増加	日/年	286	H25	321	H31		473	○	ありなし			●	魅力ある都市空間が創造され、イベントへの認知度が高まりイベント数値の増加につながったと思われる。	令和2年6月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1									
	その他の数値指標1															
	その他の数値指標2															
その他の数値指標3																
4) 定性的な効果発現状況																
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	実施無し					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・官民協働によるワークショップ等により、賑わい空間の創出に向けた整備計画を検討する。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後も公共施設の整備にあたっては官民共同のワークショップを活用する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	・今後も市民参画による駅前空間の利用促進を行う					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・市民参画による駅前空間の利用をさらに進め、駅前空間の魅力を高める。					

## 様式2-2 地区の概要

姫路駅周辺地区(第2期)

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
世界文化遺産・姫路城を擁する中核市及び西播磨テクノポリスの母都市にふさわしい、賑わいと感動あふれる姫路駅周辺の再生 目標1：大規模集客施設の整備や新たな民間施設の立地誘導により、市街地の活性化やコンパクトシティの実現に貢献する拠点づくり 目標2：新たな都市機能施設やにぎわい施設の中で、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり 目標3：行政と市民、民間事業者等の連携・協働でのまちづくり	歩行者・自転車通行量	単位:人/日	63,639	H26	83,700	H31	70,434	H31
	鉄道乗降客数の増加	単位:人/日	63,236	H25	66,786	H31	67,805	H31
	交通混雑の解消	単位:台/ピーク	222	H24	155	H31	66	H31
	イベント数の増加	単位:日/年	286	H25	321	H31	473	H31
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業による基盤整備やコミュニティサイクルの整備、周辺道路の整備を進めたことによりイベント数が増加し駅周辺で商業施設・マンション等の建設増加し市街地の活性化が達成された。</li> <li>・歩行者・自転車の通行量の伸びが目標を下回っており中心市街地の回遊性の更なる向上が求められている。</li> <li>・駅南駅前広場、官民協働による歩行者デッキの整備、大手前通りの再整備により人と自然にやさしい環境空間が創出された。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手前通りエリア魅力向上推進事業と連携し官民協働によるまちづくりを推進しまちの賑わいを増進させる。</li> <li>・コンパクトシティを推進するために都市基盤整備の整備が必要となるため駅周辺及び駅南西地区の土地区画整理事業を推進する。</li> <li>・周辺地域へ賑わいを波及させるためにイベント空間を整備し公共空間でのイベント開催を推進する。</li> <li>・歩行者・自転車の通行量を増加させるために公衆無線LANの整備や大手前エリア魅力向上推進事業との連携、空き店舗を活用したまちづくり等を実施しまちの回遊性向上を図る。</li> </ul>